

2013 年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修 「スクールリーダー育成のための基礎講座」・「学校教育研究フェスタ」、 アンケート結果概要

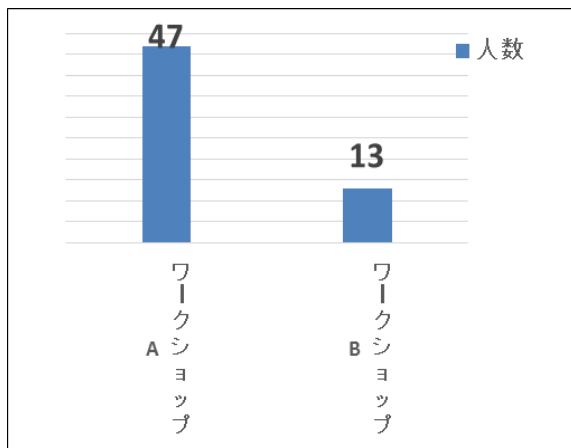
2013 年 8 月 17 日(土)～19 日(月)の「スクールリーダー育成のための基礎講座」・「学校教育研究フェスタ」において、研修の終了後に研修評価アンケートを行いました。受講者の皆様にご記入いただいた回答結果の概要をお知らせいたします。

「スクールリーダー育成のための基礎講座」及び
 「学校教育研究フェスタ」

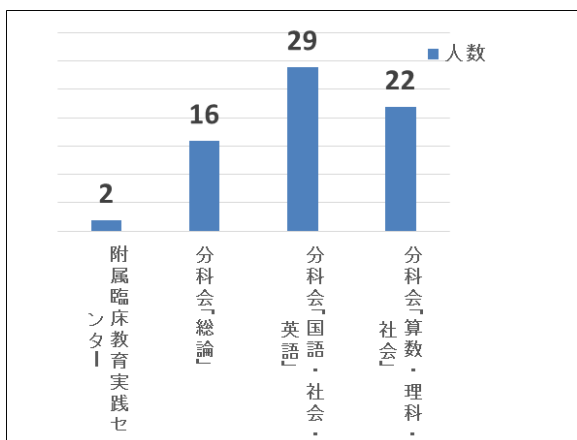
1. 開催日ごとの参加人数 ※半日のみ参加も含む

8 月 17 日	73 名
8 月 18 日	70 名
8 月 19 日	13 名
*回答者数	73 名
	総参加者数 89 名

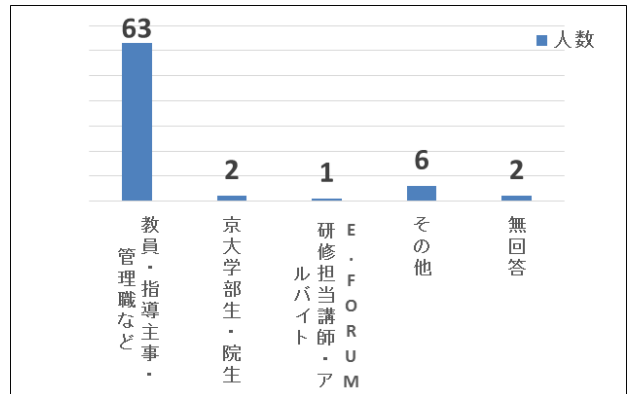
a. 回答者の参加ワークショップ



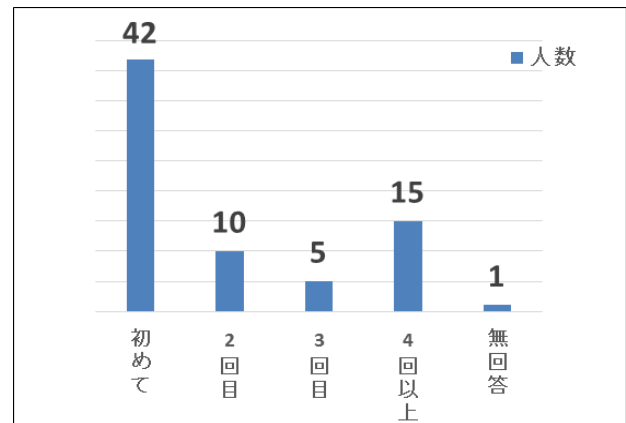
b. 回答者の参加分科会



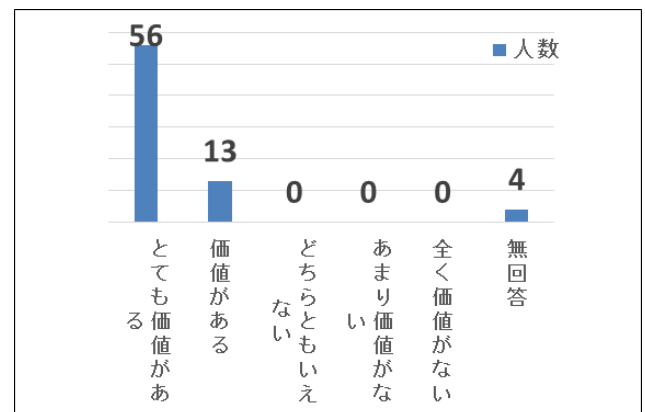
2. どのような立場で参加されましたか(複数回答可)



3. 回答者の E. FORUM への参加回数



4. 研修全体に対する評価



(以下は自由記述による事後評価アンケート)

5. 研修全体についての評価

自身にとっての成果(抜粋)

■全体に関して

- 現場では、どこかで考えられ、出来上がった理論をもとに実践するだけ・・・という気持ちでしたが、本研修を通して自分たちも実践を発信することで新たな理論形成に役立つことができることを実感しました。実際の現場に近い内容の研修でしたので、2学期にはいったらすぐに活用できる実践例を得ることができました。
- 日々の生活への刺激(夏休み明けの学校でも、単元や授業の工夫を続けていこうという元気をいただきました)。
- 教育を基軸に、大変広く深い議論ができた。
- 教師であれ生徒であれ、学ぶことはやっぱり楽しいことだと思えたこと。元気で向学心あふれる先生方に元気をもらえたこと。
- これまでの理論をより深めることができ、9月からの実践につなげていく見通しをもつことができた。
- 多くの方々の実践、意見を見聞できた。

■ワークショップ A 関連

- パフォーマンス課題等についてはじめて知ることができました。
- パフォーマンス課題について理解が深まったこと。
- ワークショップをしながら、本質的な問い、永続的理解を考え、パフォーマンス評価について学べたこと。
- パフォーマンス課題のつくり方、手順を教わったこと。
- パフォーマンス評価の理論と実践を具体的に知ることができた。
- パフォーマンス評価(課題)とポートフォリオの実践が結びついたこと。スタンダードについて話し合う中で、自身の考えている本質的な問いについて見つめ直す視点を獲得することができた。
- パフォーマンス課題や評価についての疑問を確認し、また、よさと限界(不適合性)をなんとなく知り得たこと。
- パフォーマンス課題について少しイメージができました。更に研修していく方向性がわかったように思います。
- 改めてパフォーマンス課題の意義やアイデアを得られたこと。
- ルーブリックの必要性・パフォーマンス評価の必要性を改めて感じるとともに、自分の実践からパフォーマンス課題を実際に作成してみたこと。何よりいろいろな方から多くの刺激をいただいたこと。
- パフォーマンス評価について、少し理解が深まり、2学期から使える。

■ワークショップ B 関連

- 生物が生きていくことを「何故?」と思い、考えることで空想することが大切だと気付きました。
- 学ぶこと、子供に学ばせることに関する新しい見方・考え方の獲得。
- 博物館の利用の仕方を考えさせられた。子どもに何を見せたいかによって準備の仕方が変わる。前年度のデータをそのまま利用するのもいいけれど、それだけではだめなこともある。きちんとした1本の授業を思っただけで考えなくてはならないのだと感じた。
- 自然科学における事実に対して、どのように発問を投げかければ効果的なのか、ヒントが得られたこと。

- 「見えているもの」を「事実としてみる」だけの力量を育てなければ・・・理科における自然観の育成に関することについてヒントが得られたこと。

※学生の回答

- 現職の先生方のお話が聞けたこと。理論的な話が聞けたこと。
- 実践の場で活躍されている現職の先生の話聞いて、改めて教員への熱意をもつことが出来た。
- 「逆向き設計」と「パフォーマンス課題」を、現場経験の豊富な先生方と話し合いをしたり、アドバイスをいただいたりしながら理解を深められたことだと思います。特に、実際に作品を作ったものにアドバイスをいただけたので、それが本当に良かったです。
- 今まで勉強してきたことや、これから自分が研究したいことについて改めて考えることができました。

自身がこれから取り組みたいこと(抜粋)

■全体に関して

- 私は高校で日本史を教えているので、小・中をふまえて、高校でどのような授業をしていくか、ということを考える上で、議論する相手があまりない。同志はいるのか?まわりにはいないが、始めてみます。
- 効果的な教員養成システムの開発。
- 学ぶ意欲がない、学ぶ意義が見いだせない生徒をどうするか。そういった日常の課題と今回学んだことがどのようになるのかを考えること。
- これからの世の中を生きていく子どもたちに必要な力がついていくために、どんな授業をしていったらいいのかを、しっかりと考えて実践していきたい。
- 実践を、その事実のとおりきちんとして記述する必要性を感じています。
- 学んだ事を使うことです。
- 今日、学んだことを実際に授業でやってみて、来年、また学びにきたい。

■ワークショップ A・B 関連

- パフォーマンス課題について、評価等についてもっと知るようになっていきたいです。
- 「問い」「理解」「パフォーマンス課題」まだまだ理解できていないので、また参加したいと思います。
- 校内で逆向き設計の考え方を広めること。
- 今まで、授業後、評価の基準を考えていたので、授業前(単元前)にルーブリックを作り、生徒をどう導くか見通しを明確にしていきたいです。
- 「パフォーマンス課題」「逆向き設計の考え方」「ルーブリックとは何か」を、どのようにかみくだいて現場の先生方に浸透させるかを考えています(研修主任の立場から)。
- パフォーマンス評価の実践を数多くこなすこと。
- パフォーマンス課題を使って、生徒の書く力(最終的に表に出る力ですか)を伸ばしたい。
- パフォーマンス課題とルーブリックを、実践としてどう取り入れられるか。
- 長期的ルーブリックと日々の授業を結びつけていくこと、また逆に日々の実践からルーブリックを改訂していくこと。
- 学習者がわくわくするような課題づくり。

※学生の回答

- 9月に始まる教育実習に「逆向き設計」と「パフォーマンス課題」をもり込み、それを自分の卒論に活かせたらと考えています。そのために、身につけさせたい学

力、永続的理解等を自分自身でもっと考え深めておかないといけないなと感じています。

- ・ 理論を実践に活かすにはどうしたらいいか。博物館でどう学習できるか。

研修の良かった点(抜粋)

■ 研修の内容

- ・ 具体的な実践の紹介があり、理解しやすかったこと。
- ・ 受講者が主体性をもって参加できるところ。
- ・ 能の話など、色々な切り口から教育を考えられた。
- ・ ゆったりとした自由な雰囲気の中で学び合えるのが何よりフォーラムの魅力です。幅広い内容がもりこまれ、来るたびに学びがあります。
- ・ 毎回、講師の先生の話がすばらしい。
- ・ 参加者と一体になって全員でつくっていくという姿勢。西平先生の「ご批判も下さい」という言葉が特に印象的でした。研修に今まで参加してきて、聞いたことがない言葉でしたので。
- ・ 自由な議論ができることです。
- ・ 毎活動ごとの意図説明があるので、目的が分かりやすく取り組めた。肯定的な雰囲気がいい。
- ・ 研修のねらい・目的が明確であること。
- ・ 大いに話し合い、やる気や納得や次への課題をいっただいて帰れることがいいです。

■ 活動の多様性

- ・ 講義だけでなく、グループ研修や視野を広げるための講演等バランス良く盛り込まれている。
- ・ 講義や実習のバランスが良く、スムーズに進んでいた良かった。
- ・ ワークショップと解説のバランスがよく、自分の考えの整理がしやすかったです。
- ・ 実践例が多く、イメージがしやすかったです。またワークショップとして実際に活動し意見をいただけたことも助かりました。
- ・ ワークショップ形式、また他教科の事も知ることができる点、教育とは何かという原点を思い出させてくれる点。
- ・ 基本に戻るプログラムがあったり、様々なジャンルのお話を聞けること。
- ・ ワークショップ形式と、講義をお混ぜた運営。

■ 参加者の多様性

- ・ 多くの参加者との対話が、視野を広げてくれます。
- ・ 無理なく、他の先生方と交流、共有ができました。有意義でした。
- ・ 様々な立場の方と考えを共有できること。院生の方(若い方)から刺激を受けられるところ。
- ・ いろいろな立場の方と交流でき、実践のお話が参考になった。
- ・ 異校種の先生方と話をすることができること。

■ 自己紹介タイム

- ・ 日が変わるごとにある自己紹介タイムが、他の方との距離を縮める。
- ・ まず自己紹介から始まって、講師の先生も含めてお互いに共有しようという雰囲気を作っていたところ。
- ・ 参加者同士で交流の場があること(最初の自己紹介はよいアイデアだと思います)。

※学生の回答

- ・ 選択式で自分の興味がある研修に密に参加できた点、ワークショップ等で他県の現職の先生方とお話し合いできた点が良かったと感じています。

研修の改善すべき点(抜粋)

■ 研修の内容

- ・ もう少し、参加者同士の交流があればよいかと思いました。
- ・ 自分で作業する時間があまりなかった(先生の話聞いてる時間が多かった)。
- ・ 何度も参加しているリピーターのニーズに応え、いかに満足度を上げていくか。
- ・ ルーブリック作成についての研修もしていただきたい。
- ・ スタンドの作成の進め方、グループ協議の時間が短い。
- ・ 校種別にグループ研修する機会があってもよいかと思います。
- ・ 実践レベルでの協議がもっとできたらよいと思いました。
- ・ 本当は3日間くらいの時間をかけ、ルーブリック作りのワークショップや本質的な問い、パフォーマンス課題作りや交流タイムができればいいなと思います。

■ 時間不足

- ・ ワークショップの時間をもう少し欲しかったですが、また参加します。
- ・ 1日目の内容が盛りだくさんで消化しきれませんでした。じっくり整理できる時間があるとうれしいです。
- ・ もりだくさんで時間が少しくつ(18日午後)。
- ・ 改善というわけではありませんが、じっくりと考える時間がもう少しあるとありがたいです。
- ・ 1つ1つのワークショップを、もっとゆったりと時間を持っていただくと有難いです。
- ・ 盛りだくさんだからこそ時間にゆとりがなく、すべてが途中で終わってしまい、もったいない。悔しい思いをしました。
- ・ 話し合いに必要な十分な時間をとっていただけたら、更に良かったと思います。

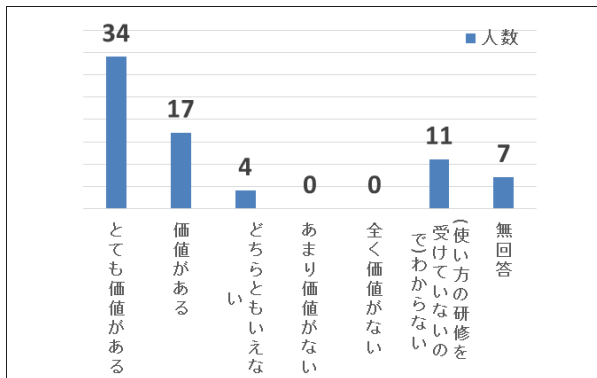
■ その他

- ・ 講義の展開が速すぎて、ついていけない所があった。
- ・ もっと実践的な時間があれば…。1日だけだったので2日間申し込めばよかったです。
- ・ 勉強不足でおいていかれそうになりました。

※学生の回答

- ・ もう少し、ワークショップAの後半をゆっくりしていただければ…。自分の勉強不足もあいまって、ワークショップAの後半の内容が消化不足です。もう少し時間が欲しかったと思う一方、それは体力的にはきついだらうなというように思いました。すいません、自分のただの努力不足です。ただ、更なる教育の可能性と、もっと勉強したいなということを感じられてよかったです。
- ・ 講義の展開が速すぎて、ついていけない所があった。

6. 「E.FORUM Online(EFO)」について、現時点でのあなたの評価



7. 「E.FORUM Online(EFO)」についての評価

良かった点(抜粋)

- ・ わかりやすい説明でした。
- ・ 初めての参加でしたが、わかりやすく、自分の実践とてらし合わせて考えていくことができたことです。
- ・ 事例が多く、具体的でわかりやすかった。
- ・ 多くの成果から学ぶことができ、自分の研究についても必要ときに活用できるのありがたいです。
- ・ まだ利用していませんが、様々な実践例を見られることや、自分の実践を見ていただけるシステムは素晴らしいと思います。
- ・ 入りやすく、見やすくなったと思います。
- ・ ルーブリック作りに、ひな形として使いました。
- ・ 気軽に意見を出せる。
- ・ 色々な観点からの意見が聴ける所が、貴重な点だと思います。
- ・ やってみようかなという人にとっては、いくつかの実践をみられるということは、とてもプラスになると思います。議論の広場の内容がとても勉強になると思います。
- ・ マトリックス！資料の整理ができます！
- ・ PC 操作が苦手な私でもたいへん操作しやすく、そして様々な方の実践が見られ、今後も活用したいと思います。
- ・ どんなファイルでもアップできるところがよいです。他で作った指導案も、そのままアップしていこうと思います。
- ・ とにかく共有できる場所です。そして、これからが楽しみなところです。
- ・ 多くの先生の実践が拝見できるところがよいです。これから、悩みや提案も含めて、実践例をのせることで、アドバイスをいただければと思います。
- ・ マニュアルがなくても利用できるくらい分かりやすい設計で、すばらしいと思いました。
- ・ 実際に体験できて、良かった。
- ・ 誰もが参加してよいという開かれた取組。

改善すべき点(抜粋)

- ・ パワーポイントの資料は、読んでみたいと思うものがありました。字をもう少し大きく書いてあったらよいと思いました。
- ・ 具体的な単元目標の設定と、年間の授業計画の整合性。

- ・ すいません、研修をうけていないので現時点でわかりません。マニュアルを見て使ってみようと思います。ざっとマニュアルに目を通した所では、様々な方が考えられたカリキュラム等が見ることができるようで価値を感じている所です。
- ・ すみません。時々見せていただくのみで、活用するまでに至っていません。
- ・ マトリックスが、途中でも数や幅を編集できればさらに使いやすくなるかと思います。技術的に可能かわかりませんが・・・
- ・ パフォーマンス課題に限らず、普通の指導案、シラバス、年計をアップできることを広くアピールするとよいと思います。SNS のように、掲示板に「like」の機能をつけてはどうでしょう。掲示板に書き込んででもレスがないと、書き込んでも次の意欲につながりませんが、「like」があるとまた書こうと思います。→会員の交流が活発になります。
- ・ Amazon のように、おすすめのユニットなどが示されるとすごいと思います。また、マトリックスは unit～ではなく、タイトルで表示されるとよいと思いました。
- ・ 自分自身が、EFO の研修の場でしか、参加できていない所(自分自身へ)。

8. 特に印象に残った部分について(抜粋)

ワークショップ A「カリキュラム設計」:西岡(抜粋)

- ・ 来年もぜひ参加したいです。
- ・ 本で読んで、わかりにくかったところが、わかってきました。あとは、自分でやってみることで、また、わかることが増えるのだと思います。
- ・ はじめてパフォーマンス課題等について知ることができました。どうもありがとうございました。とてもむずかしいなということを感じました。さらに学んでいけたらと思います。
- ・ 分かりやすく説明していただきありがとうございました。実際にやりながら、疑問に思ったことをまた来年来て勉強させていただきたいです。
- ・ 西岡先生のご講義は実践に即したものであり、ポイントが明確に示していただけるとたいへん勉強になります。
- ・ たくさんの資料ありがとうございました。来年までにやってみたい事が出てきました!!
- ・ 著書を読んだだけでは分からないことが良くわかった。学力・パフォーマンス評価・ポートフォリオ評価等々の理解が深まった。
- ・ 現在の動向を含め、幅広い視点から情報を得ることができた。また、本質的な問い作りなど同じ作業が位置付けられているからこそ、自身の変容や課題に気付くことができるように思う。
- ・ 「逆向き設計」を行うにあたって、生徒に学ばせたいこと、身につけさせたい学力について明確にする作業が、自分自身の教育実践の評価につながるということに気づかされました。西岡先生ありがとうございました。
- ・ パフォーマンス課題等、新たな課題設定の手法を認知でき勉強になりました。また、これまでの自分の実践が実はパフォーマンス課題になっていた事が理解でき嬉しかったです。
- ・ 内容がもりだくさんでしたが、西岡先生の、たいへんわかりやすいご説明で、充実した研修となりました。具

体的にVTRや作品等を提示しながらなので、とてもイメージがしやすく、理解の助けとなりました。

- ・ パフォーマンス評価、ルーブリック初心者でしたが、西岡先生のお話はわかりやすく良かったです。
- ・ 自分の中でまだ迷いがあります。分かりやすくお話ししていただいたのですが、消化にもう少し時間がほしかったです。
- ・ 最近の教育政策について貴重なお話を聞くことができ、ありがたかったです。21世紀型スキルとの関係で学校教育をとらえなおしていきたいと思えます。

※学生の回答

- ・ パフォーマンス評価についての理解を深めることができた。
- ・ 卒論と、今度の実習で「逆向き設計」をやってみようと思っています。そのための基礎となる考え方や、わからない点が少しですがわかりました。経験がないので、現職の先生方と比べてイメージし辛いかな、と不安でしたが、具体例や実際の授業からお話しされたので、とてもありがたかったです。
- ・ 大学の講義(教育課程論)の既習内容が多かったので、それを短縮してもっと考える時間や議論する時間をとることが出来たらよいと感じました。

ワークショップ B「思考力・対話力を育てる教材開発:総合博物館を探究する」:大野・石井(抜粋)

- ・ 身近にあるもの(今回は、ハマグリ)を調べることの楽しさを知りました。知っているようで、知らないことが沢山あるということに気がきました。
- ・ 二枚貝のワークショップが、目からウロコでした。
- ・ 大野先生の人柄にひかれました。子ども(参加者)をほめて、生かしていく姿など、大変刺激になりました。
- ・ 大野先生のファンになりました。私も文学や日本語で書かれたものを読むのは面白い!と思わせる授業をしたい。教師が子どもの学ぶ喜びを奪ってはいけない。東大、京大の院生の方もグループにおられたが、考え方や視点が教師と違い、興味深かった。
- ・ 「教材研究が楽しい」ことを再確認した。今はひとりぼっちで授業計画をたてていることが多く、ほんとうにこれでもいいのかなと思っても、なかなかまわりの意見をもらうチャンスがないので…。特に総合は、いろいろな観点、いろいろな意見が反映された方がおもしろいものを作れるのではないかと思った。
- ・ 教材づくりもよかったです。ワークショップの中で何気なく大野先生が発言する言葉や動きがよかったです。物事の見方や授業での子どもとのかかわりなど、考えさせていただききっかけをたくさんいただきました。
- ・ 展示をみる前に疑問をもつこと、視点をもって展示をみることの必要性を感じました。

講演「稽古のしなやかさ—世阿弥『伝書』における稽古の仕掛け」:西平(抜粋)

- ・ 楽しくお話を聞かせていただきました。自分の授業と重ね合わせた時にすっきり当てはまり、「似得る」瞬間の心地よさを思いうかべました。たぶん、子どもと一体になっている瞬間なのではないかと思いました。ありがとうございました。
- ・ とても共感できる講演でした。教育という営みや、自分自身についてとても考えさせられました。私たちは、い

ろいろ悩み、迷いながらも、子どもたちに教え、授けることをしていかなければなりません。それはとても恐ろしいことでもあり、価値のあることでもあると改めて実感しました。

- ・ 型、についての解釈について、勉強になりました。一緒に考えて下さいという雰囲気が好きでした。
- ・ 西平先生のお人柄が感じられる語り口調に、心地よさを感じました。教育現場に照らし合わせながらお話をきかせていただきました。大変ありがとうございました。
- ・ 教育のあり方や教員研修のあり方と重ねながら、その根底にあるものについて考えることができた。
- ・ 講演の中で、西平先生が質問されていたことが「本質的な問い」につながるものなのだと感じました。「型」の問題では、型にはめる教育も型を破る力を身につけさせる教育も、学校現場では必要なものであると感じました。
- ・ 子どもたちの教育にも、十分に活用できる講演であったと思います。子どもの学びへの姿、教師として「教える」ということ、また、人生の悟りとしての見方も出来、さまざまな視点から考えることができました。90分、フルに講演いただいてもよかったですのではないのでしょうか。
- ・ お話をうかがうまでは、「型」という言葉に抵抗がありましたが、「型」という言葉のとらえ方や、取り入れ方をもっと柔軟にしていけば受け入れられる部分が多いのだと思いました。
- ・ パフォーマンス課題の考え方にあてはめて考えられる所が多々あって、深く納得したり、お話のむずかしいところに悩んだり…。もっとお聞きしたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 非常に奥深い内容で、理解しながらおききするのが大変でした。でも、講義の終わった後もどうしたことだろうと自分に問いかけることができるので、面白いなあと感じました。
- ・ 世阿弥「稽古」の意味、「花」「幽玄」の美学、型のもつ意味、先生のお話にすいこまれていくような感じがしました。自分自身の解釈が、様々な現代を社会状況と相重なっているような気がしました。ありがとうございました。
- ・ とても興味深く、楽しくうかがうことができました。日頃うかがうことができないような内容だったので、なおさらよかったです。次回も、その先をうかがえたらと思うほどでした。
- ・ 大変、刺激になりました。ところで、「稽古をする者＝生徒」だとすると、「観客」は何になるのかを考えています。
- ・ 話にひきこまれました。まだ整理できていない部分が多いため、自分で本を読み、自分なりの解釈を持ちたいと思いました。
- ・ 離見の見について、考え続けていきます。西平先生の話に引き込まれ、人間の成長と、昆虫の成長(理科で、子どもたちが6、7月に育てていた)とつなげながら考えて聞いていました。先生がおっしゃる「ゼロポイントにもどる」という視点を、子どもたちの中にもつくり上げることができるよう、私自身、毎朝、ゼロポイントに戻り、成長をし続けます。

※学生の回答

- ・ とても教育につながる話で楽しかった。
- ・ 世阿弥の指摘する「形木」と、子ども本来の姿ときいて何となく思ったのは、「既有知識」の話です。子どもが元々持っているものに、説明文等からある種の考え方、

読み取り方、述べ方という「型」を与え、子どもはそれをくり返していく内に無意識に近い形で使いこなすということに似ているなど思いました。

講演「E.FORUM スタンダードとは何か」：西岡（抜粋）

- ・ 単元毎の包括的な問をたてることには賛成。
- ・ 少しずつ無理なく standard がかたちになればいいな一と思えます。西岡先生のお力、すごい!! 日本を動かしていますね。
- ・ 冊子、説明、パワーポイントでのスライド、ビデオがあり、やわらかな口調で、自分もあの様にできたらと思えました。ありがとうございました。

※学生の回答

- ・ 確かに、共通された目標があれば、大学入試等の形式・内容の変更や改善も簡単になるかもしれないと感じました。その地域・生徒の実態にあわせて改善するというようなのかなと漠然と感じましたが、そこで変更することは共通の目標をたてた意味からずれてしまうのかなと思ったりしました。すいません、まだ理解があいまいです。

教科等別分科会：担当講師や登壇者の方へ（抜粋）

- ・ 自分の教科について本質的な問い、理解について、様々な意見交流ができたのはとても、勉強になりました。これからの授業で活用していこうと思います。ありがとうございました。
- ・ 多様な考えや取り組みの中で、本当に大切なものについて考え直すことができた。自身の問いについても、次の課題を得ることができた。
- ・ 先輩の先生方から、たいへん勉強になる意見をいただくことができました。
- ・ パフォーマンス課題例、ルーブリック例が、指導要領に載ると良いなと思ったのは自分だけではないと思います。中学国語は「本質的な問い」を考えることに手間取ってしまいましたが、つけたい力を通して生徒になってほしい姿を考える上で、とても必要になることだと思うので、これからも考え続け、自分なりにですが、提案していければと思います。よろしくお願いします。
- ・ カリキュラムスタンダードをつくる上での問いが投げかけられ、改めて外してはいけない大切なことに気づきました。ありがとうございました。
- ・ 改めて、いろいろ考える機会と刺激となりました。いくつかの気づきもいただきました。高校国語は難しいです。あそこのスタンダードは「逆向き」でないような・・・。

教科等別分科会の実践交流タイム：同じグループで交流した仲間へ（抜粋）

- ・ 同じところで悩み、共有できたことが何よりの成果でした。もう一度見直し、実践できそうです。
- ・ 教科のことがいろいろ話し合えて、楽しかったです。ありがとうございました。もっと時間があればよかったです。
- ・ まとめ役の先生、報告の先生、大変お疲れ様でした。スタンダード作りのための対話の重要性を感じました。
- ・ とても充実したものになった。現場に出たら、活用していきたい。
- ・ 実践について意見をもらえてよかった。

- ・ 日々の取り組みの様子をお聞きしたり、課題に対して共感していただいたりと、充実した時間になりました。
- ・ 小グループでスタンダードの検討ができたのは非常に有意義でした。日頃の授業にも、そのまま活かせることが多々ありました。有難うございました。
- ・ 4人で話しましたが、とても面白かったです。勉強になりました。ポートフォリオを見せてもらってなるほどと思いました。
- ・ パフォーマンス課題について実践交流、疑問点、課題点が、自分の中で少しイメージできたように思います。同時にパフォーマンス課題、ルーブリックの作成（スタンダード）の難しさが実感できました。
- ・ 教職員研修に係わるグループに所属していましたが、都道府県による認識の違いや課題を共有でき、勉強になりました。
- ・ スタンダード作りと並行しての実践交流はどちらも中途半端で終わります。2日目は教科別分科会に特化してみっちりというのはどうでしょう。グループ構成員も年令や経験などごちゃ混ぜの方が、経験の浅い者の勉強になります。今回若い方ばかりのグループだったこともあり、深まりという点で十分ではありませんでした。
- ・ 学びを通して育みたい子どもの心、たくさんのまなざしが存在していることを実感し、学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・ 参加されている先生の考え方や実践がすごく先進的であり効果的であり、自分は果たして何かを提供できたのか疑問です。次回はしっかりと勉強してきます。

※学生の回答

- ・ 非常に知識が浅く、未熟な私でしたが、そのような私に対しても、わかりやすい説明をしていただくなどのフォローをしていただき、ありがとうございました。
- ・ いろんなご意見をいただけて、自分の視野の狭さに気づけました。本当にありがとうございました。

演習『E.FORUM Online』の活用：中池・松井・西岡（抜粋）

- ・ ていねいに説明してくださったので、初心者としてはとてもありがたかったです。人数も少なく、西岡先生にも、たくさん質問することができ、とても得した気持ちになりました。西岡先生のご説明は、たいへんわかりやすく明確でした。やわらかな雰囲気が、そのまま会の雰囲気になっていたと思います。ありがとうございました。
- ・ たいへんわかりやすく丁寧に教えていただき、充実感がありました。現場に戻っても、活用させていただきます。
- ・ この場があることで、かろうじて参加でき、感謝しています。

その他（抜粋）

- ・ 本学・工学科の、約20年前の卒業生ですが、教育学部が「教員の日々の実践により合致した」取り組みに大きく変化している印象をもちました。
- ・ 今回はとても充実した1日となりました。山名先生とお話できてよかったです。
- ・ 西岡先生のパワーに感動しました。先生の課題に取り組む姿勢や考え方には勉強させられました。ありがとうございました。

- ・ スタッフの方々、お世話になりました。

9. E.FORUM へのご意見ご要望(抜粋)

- ・ 1つのことでも、いろんな方向から考えて、つなげていくことの大切さを知りました。ありがとうございました。
- ・ 同じ教科の者が集まると、話題が共有できよくわかりやすい。
- ・ 今後、道徳の教科化が濃厚なことを考えると、スタンダードにはなじまない可能性があります。道徳の部会というか検討の場も必要かと思います。
- ・ リピーターも非常に多い研修だと思います。常に新たなプログラムに取り組まれることこそが、このE.FORUM の魅力でもあると思います。「不易と流行」のバランスがよい研修になることを希望いたします。
- ・ 実践のコーナーがありました。理論がどう現場で実践され、どういう効果や問題が出たかということについてコーナーではなく、どこか実践校の例を焦点化して紹介するのも聞いてみたい・・・と思いました。
- ・ 先生方、スタッフの方々、本当にお世話になりありがとうございました。少しずつ自分の理解が深まると思いつつ、霧が晴れないところを残しています。実践をくり返しながらか、それが晴れていけばと思います。今後も御指導をよろしくお願いします。
- ・ 私の勤務する学校で、緊迫した、考えなければいけない「課題」は新任者教育です。「新任研修」の研修を受けていない現場の教師が、自分の担任や教科指導をしながら大人の教師になりたての人間を教育するのは容易なことではありません。現場に丸投げの教育行政側の怠慢さを感じます。このような問題も話し合える機会があれば有難いと感じます。
- ・ 実践交流の時間、メンバーをかえて2回くらいできると面白いかなと思いました。
- ・ スタンダードの形が教科でもまちまちであり、一歩進めるために教科を超えた部分でのすりあわせも必要かと思いました。少しわかってきたからこそその疑問が、頭いっぱいにはびこっています。来年を楽しみにしています。
- ・ みな様の熱意とご尽力のおかげで、私は新しい視点を吸収でき喜んでます。なみなみならぬ、続続の熱意を受け、私も励みます。ありがとうございました。

※学生の回答

- ・ 「E.FORUM」スタンダードの取り組みに関しては、1日に資料を見た時から、どのように組み立てられていくのだろうと、また自分は何ができるだろうかと、楽しみな面と不安な面がありました。結果として、小学校は段階的な問い、高校生はくり返しの問いになっていて、その間の中学校はどうあるべきかと考えるのが非常に大変だと感じました。あと、学生の身分としては、「スクールリーダー研修」という名前はすごくハードルが高くて・・・自分が小心者だからなのですが、ただサイトをのぞけば学生のコメントがあったので、参加していいんだと安心できました。
- ・ 学生として参加したが、全く意見を述べる事ができなかった。しかし、実践例が色々聞けて楽しかった。